

令和4年度決算にかかる主要な施策の 成果報告書並びに基金運用状況報告書

会 津 若 松 市

目 次

1	令和4年度主要な施策の成果報告書	1
(1)	総括	3
(2)	市税徴収実績	4
(3)	一般会計	7
	第1款 議会費	8
	第2款 総務費	8
	第3款 民生費	23
	第4款 衛生費	27
	第6款 農林水産業費	30
	第7款 商工費	33
	第8款 土木費	40
	第9款 消防費	45
	第10款 教育費	46
(4)	「新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策経費」	53
(5)	「地方創生」粋事業	71
(6)	特別会計	85
	会津若松市国民健康保険特別会計	86
	会津若松市観光施設事業特別会計	88
	会津若松市地方卸売市場事業特別会計	90
	会津若松市扇町土地区画整理事業特別会計	91
	会津若松市介護保険特別会計	92
	会津若松市三本松地区宅地整備事業特別会計	94
	会津若松市後期高齢者医療特別会計	94
2	令和4年度基金運用状況報告書	95
(1)	会津若松市板橋好雄奨学資金貸与基金	96

令和4年度 主要な施策の成果報告書

令和4年度決算における主要な施策の成果について、地方自治法第233条第5項の規定により提出する。

令和5年9月14日

会津若松市長

室井照平

総括

令和4年度の一般会計歳入歳出予算額は、当初52,488,000,000円でありました。

その後、15回の補正予算額7,192,545,000円を加え、さらに、令和3年度繰越明許費繰越額1,213,448,959円を加えた結果、最終予算額は60,893,993,959円となりました。

これに対して決算額は、歳入60,300,005,107円、歳出56,788,477,287円で、差し引き3,511,527,820円の剰余金が生じたものです。

歳入

予算現額60,893,993,959円に対し、決算額は60,300,005,107円で、予算現額と比較し、593,988,852円、1.0%の減収となりました。

その主な内訳は、市税（536,492,975円）、地方交付税（672,625,000円）などの増収と、国庫支出金（△783,507,458円）、県支出金（△256,037,915円）、市債（△872,300,000円）などの減収によるものです。

なお、減収分のうち、国庫支出金332,164,000円、県支出金22,466,720円、繰入金69,034,000円、諸収入283,000円、市債687,400,000円は、翌年度へ繰り越した事業の財源であり、令和5年度に事業が完了することにより収入されるものです。

歳出

予算現額60,893,993,959円に対し、決算額は56,788,477,287円で、執行率は93.3%（前年度94.1%）となり、継続費逓次繰越額362,900,000円、繰越明許費繰越額936,762,500円、事故繰越し繰越額378,070円を除いた不用額は2,805,476,102円となりました。

主な不用額は、民生費941,173,864円、衛生費904,905,332円、総務費258,983,877円で、効率的な執行に努めたところです。

新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策経費

新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策経費については、補正予算や予備費等を活用し、最終的な予算現額5,216,511,769円に対し、決算額は4,070,973,895円で、執行率は78.0%となりました。また、繰越明許費として、104,570,000円を令和5年度へ繰り越しています。

当該対策経費のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業の決算額は2,330,402,256円で、当該交付金を1,625,380,000円充てました。

以上、これらの予算執行を通して得られた本年度の行政施策の主な成果の概要は、次のとおりです。

市 税 徴

税 目	区 分	前年度決算額 (A)	予 算 現 額	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)
		千円	千円	千円	千円
I 普通税		15,038,698	15,226,279	16,291,450	15,765,890
1 現年度分		14,859,244	15,114,479	15,816,609	15,676,589
(1) 市 民 税		6,258,025	6,023,356	6,584,913	6,536,321
(2) 固 定 資 産 税		7,233,122	7,717,429	7,797,545	7,708,742
(3) 軽 自 動 車 税		351,918	385,835	376,351	373,726
(4) 市 た ば こ 税		1,016,179	987,859	1,057,800	1,057,800
2 滞納繰越分		179,454	111,800	474,841	89,301
(1) 市 民 税		63,355	49,400	122,451	39,033
(2) 固 定 資 産 税		112,918	59,800	343,518	48,353
(3) 軽 自 動 車 税		3,181	2,600	8,872	1,915
II 目的税		56,282	81,721	78,685	78,603
(1) 入 湯 税		56,282	81,721	78,685	78,603
現年度分		56,271	81,720	78,603	78,603
滞納繰越分		11	1	82	0
合 計		15,094,980	15,308,000	16,370,135	15,844,493

収 実 績

(C)の 構成比	対前年度比 (C)／(A)	未 収 入 額 (B)－(C)	調定額(B)に対する収入済額(C)の割合(徴収率)				
			4年度	3年度	2年度	元年度	30年度
%	%	千円	%	%	%	%	%
99.5	104.8	525,560	96.8	96.7	96.2	97.0	97.1
99.0	105.5	140,020	99.1	99.2	98.4	99.0	99.1
41.2	104.4	48,592	99.3	99.4	98.9	99.2	99.2
48.7	106.6	88,803	98.9	99.0	97.9	98.7	98.9
2.4	106.2	2,625	99.3	99.3	99.1	99.0	99.0
6.7	104.1	0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0.5	49.8	385,540	18.8	31.1	20.7	23.0	26.4
0.2	61.6	83,418	31.9	42.2	35.4	38.2	38.5
0.3	42.8	295,165	14.1	27.1	14.4	16.2	21.0
0.0	60.2	6,957	21.6	31.6	27.1	24.8	24.6
0.5	139.7	82	99.9	99.9	99.8	95.2	99.9
0.5	139.7	82	99.9	99.9	99.8	95.2	99.9
0.5	139.7	0	100.0	100.0	99.8	95.2	99.9
0.0	0.0	82	0.0	11.8	100.0	100.0	100.0
100.0	105.0	525,642	96.8	96.7	96.2	97.0	97.1

主要な施策の成果（一般会計）

1 款 議会費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
議会管理費(タブレット端末導入経費) (議会事務局)	2,034				2,034
説 明					
<p>○ 社会のデジタル化の加速を踏まえ、議会のICT化の推進に取り組むとともに、災害時の安否確認や感染症まん延時のオンライン会議の開催等、議会活動の業務継続に資する環境を整えるため、タブレット端末を導入しました。これにより、各種会議の開催通知や結果連絡等の情報伝達、各種会議資料等の情報共有を迅速かつ効率的に行うことが可能になりました。</p> <p>・ タブレット端末借上料等 2,034千円</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
ふるさと寄附金に要する経費 (総務課)	25,072				25,072
説 明					
<p>○ 寄附者が寄附しやすい環境づくりとして、ふるさと納税ポータルサイト及びキャッシュレス決済の利用により、納付利便性の向上を図るとともに、体験型返礼品の追加など更なる返礼品の拡充に取り組み、寄附の一層の促進に努めました。</p> <p>[主な経費]</p> <p>○ポータルサイト利用料及びキャッシュレス決済手数料 4,798千円</p> <p>○ふるさと納税返礼品発送業務委託(返礼品調達費用を含む。) 16,091千円</p> <p>○ふるさと納税返礼品(電子クーポン) 1,349千円</p> <p>[事業実績]</p> <p>○WEB申込み利用実績 95.8% (寄附件数全体に対する利用件数の割合)</p> <p>○キャッシュレス決済利用実績 93.5% (同上)</p> <p>○返礼品発送実績 1,806件 (委託による発送件数)</p> <p>[ふるさと寄附金(個人寄附者)の受入状況]</p> <p>○件数 1,836件</p> <p>○金額 59,933千円</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
福利厚生費（EAPサービス業務委託） (人事課)	1,567				1,567
説 明					
<p>○ メンタル不調を訴える職員が増加傾向にあり、その要因も複雑・多様化していることから、「外部資源ケア」として従業員支援プログラム（EAP）を導入し、メンタルヘルス対策の充実、強化を図りました。</p> <p>1. 事業概要</p> <p>(1) 委託内容 職員及び1親等以内の家族を対象として、健康や職場に関する問題、プライベートに関することなど様々な悩みに対して、専門員による相談対応や、相談内容に応じた専門機関の紹介、休職者に対する復職支援、職員の復職に向けた人事課保健師との協議、助言等を行いました。</p> <p>(2) 委託期間 令和4年7月1日～令和5年3月31日</p> <p>(3) 委託先 有限会社アサカサービスセンター</p> <p>(4) 委託料 1,566,400円</p> <p>2. 相談実績</p> <p>(1) 件数 456件</p> <p>(2) 実人数 42名</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
未来の働き方創造事業費（働き方改革推進支援業務委託） (人事課)	8,600				8,600
説 明					
<p>○ 人材の確保が困難になる社会において、求められる行政サービスを提供し続けることを目指し、職員一人ひとりが生産性の高い働き方を実現するため、業務改革を推進するとともに、意識改革を図りました。</p> <p>1. 事業概要</p> <p>(1) 委託内容</p> <p>○ 働き方改革コンサルティング</p> <p>働き方改革の指針（令和3年2月）において、基礎期（コンサルティング並走期）に位置づけた令和3年度から令和5年度までの期間に、主要部局を網羅することを目指し、業務の性質が異なる職場を選定し、コンサルタントの指導・助言を受けながら、それぞれの業務特性に合わせた業務見直しを行うとともに、報告会を開催することで全庁的な情報共有を図りました。</p> <p>(2) 委託期間 令和4年6月1日～令和5年3月27日</p> <p>(3) 委託先 株式会社ワーク・ライフバランス</p> <p>(4) 委託料 8,600,000円</p> <p>2. 実施内容及び成果</p> <p>(1) 働き方改革コンサルティング</p> <p>① モデル職場の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画政策部企画調整課、協働・男女参画室、観光商工部商工課の3職場をモデル職場として選定し、令和4年7月にキックオフ研修を実施して業務見直しの具体的な進め方を学びました。 キックオフ研修以降は、各モデル職場において、グループ全員が参加する「カエル会議」とコンサルタントが参加する「定例会」を定期的で開催し、専門的な知見による指導・助言を受けながら、各職場における課題の解決に向けて取り組みました。 その結果、各モデル職場において、タブレットPCを用いた会議の議事録のリアルタイム作成、表彰事業の審査方法の見直し、様式・マニュアル等の整備などに取り組み、業務改善につなげました。 <p>② 報告会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 各モデル職場の取組成果については、令和4年10月に中間報告会、令和5年3月に最終報告会を開催し、全庁的に共有しました。 <p>③ 委託事業者からの提案</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託事業者からは、取組を通して見えてきた全庁的課題として、仕事の属人化、困難な事業廃止などが挙げられ、また、その課題解決に向けた対応策として、担当業務の見える化、カエル会議の定着、事業の統廃合プロセスの明確化などの提案もなされたところであり、今後取り組むべき課題と対策が明確になりました。 					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
庁内情報化推進事業費（申請管理システム構築等業務委託） (情報統計課)	22,635			11,317	11,318

説 明

○ 全国の自治体で進めている介護・子育て分野26手続のオンライン申請を実現し、市民の利便性の向上と行政事務の簡素化・効率化を図るため、国の「ぴったりサービス」からの申請データを本市の業務システムと連携させ、円滑に申請者の本人確認及び申請内容の確認ができるシステムを導入しました。

[介護・子育て分野26手続]

1. 介護関係11手続

- (1) 要介護・要支援認定の申請
- (2) 要介護・要支援更新認定の申請
- (3) 要介護・要支援状態区分変更認定の申請
- (4) 居住（介護予防）サービス計画作成（変更）依頼の届出
- (5) 介護保険負担割合証の再交付申請
- (6) 被保険者証の再交付申請
- (7) 高額介護（予防）サービス費の支給申請
- (8) 介護保険負担限度額認定申請
- (9) 居宅介護（介護予防）福祉用具購入費の支給申請
- (10) 居宅介護（介護予防）住宅改修費の支給申請
- (11) 住所移転後の要介護・要支援認定申請

2. 子育て関係15手続

- (1) 児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求
- (2) 児童手当等の額の改定の請求及び届出
- (3) (児童手当等) 氏名変更/住所変更等の届出
- (4) (児童手当等) 受給事由消滅の届出
- (5) 未支払の児童手当等の請求
- (6) 児童手当等に係る寄附の申出
- (7) 児童手当に係る寄附変更等の申出
- (8) (児童手当等) 受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の申出
- (9) (児童手当等) 受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の変更等の申出
- (10) 児童手当等の現況届
- (11) (教育・保育給付) 支給認定の申請
- (12) 保育施設等の利用申込
- (13) 保育施設等の現況届
- (14) 児童扶養手当の現況届の事前送信
- (15) 妊娠の届出

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
データ利活用推進事業費（オープンデータ利活用基盤改修等業務委託） (情報統計課)	11,000	7,333			3,667

説 明

- インターネット上の異なるサービス間におけるデータの受け渡しやお互いの機能を利用する仕組みの共通規格であり、多くの都市OSで見込まれている標準規格のインターフェイス「NGSI（Next Generation Service Interface）」へ対応するため、オープンデータ利活用基盤「DATA for CITIZEN」の改修を行い、都市OSである「会津若松+」などの様々なサービスとのNGSI形式によるデータの受け渡しを可能にしました。
また、オープンデータ利活用基盤で公開している主要データをNGSI形式へ変換して追加公開しました。
今後、NGSIが多くのサービスや他地域の都市OSにおいても利用され、円滑なデータ連携が行われることにより、異なるサービスからのデータをオープンデータとして集約し利用しやすくすることで、多様なサービスの創出が期待されます。

NGSI形式オープンデータ一覧（令和5年3月末現在）

	名称	備考（変換元データ）
1	【NGSIv2JSONデータ】店舗カテゴリ	csv形式 12件（住所、緯度・経度、種類など）
2	【NGSIv2JSONデータ】人口カテゴリ	csv形式 10件（人口総数、世帯数など）
3	【NGSIv2JSONデータ】公共施設カテゴリ	csv形式 8件（住所、緯度・経度、トイレ数など）
4	【NGSIv2JSONデータ】公園カテゴリ	csv形式 5件（緯度・経度、公園区分など）
5	【NGSIv2JSONデータ】教育カテゴリ	csv形式 5件（住所、緯度・経度、種別など）
6	【NGSIv2JSONデータ】健康・福祉カテゴリ	csv形式 12件（住所、緯度・経度、診療科目など）
計	6件	52件

※上表のNGSI形式を含めた全オープンデータ数 352件

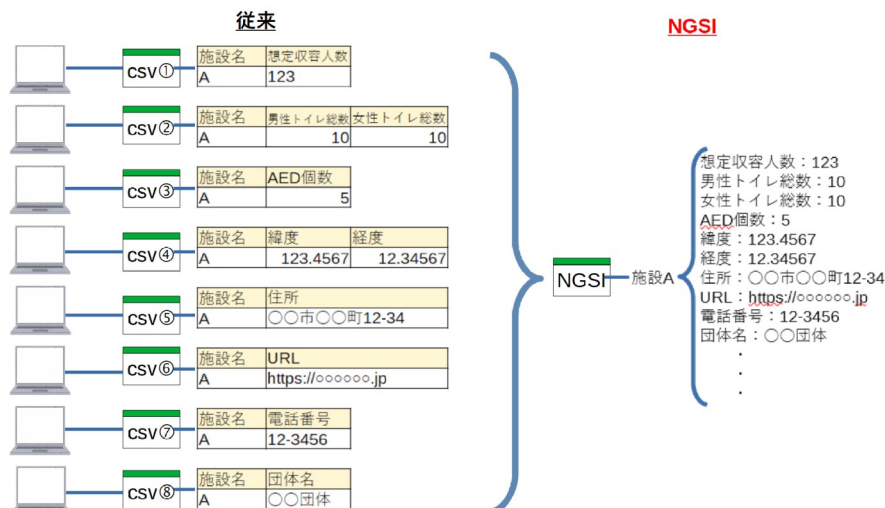
NGSI形式によるメリット

スマートシティの実現に向けた課題として、様々な分野毎に個別システムがあり、それらが保有するデータの再利用や横展開が困難なことが挙げられます。

その解決のため、地域内外で各種のデータを流れやすくし、各サービスの連携や各地域間でのサービスの横展開をすることが可能となる標準的なデータ形式が、NGSI形式のオープンデータになります。

例えば「【NGSIv2JSONデータ】公共施設カテゴリ」の変換元csvデータ8件（名称や住所、緯度、経度、トイレ数、避難所区分など）については、公共施設Aの情報を取得する際、従来は公開されている8件のcsvデータ全ての所在を確認のうえ、各csvデータの中からAの情報を抽出し、まとめる作業が必要でした。

一方で、NGSI形式の場合は、その所在だけ確認できれば、Aに関するcsvデータ8件分の情報が既に集約されているので、情報の検索や抽出に係る手間が大幅に削減されます。



2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
未来人財育成事業費（新生日本・再生故郷実行委員会負担金） (企画調整課)	5,700			5,700	
説 明					
<p>○ 「新生日本・再生故郷」をテーマに、新生日本・再生故郷実行委員会により、地域活力の再生に向けて、次世代を担う“人財”の育成事業を中心とした取組を実施しました。</p> <p>[事業内容]</p> <p>1. グローバル人材育成事業</p> <p>異文化や世界で起こっている諸問題に触れる機会を提供し、子ども達の国際社会や異文化への理解と興味関心を深めることで、グローバルな視点を持った人材の育成を行いました。</p> <p>○ 参加者数 会津地方高校生 9名（うち市内高校生9名）</p> <p>(1) ワークショップ（全3回）</p> <p>① 開催期間 令和4年7月～8月 <會津稽古堂ほか></p> <p>② テーマ 「グローバル人材とは何か」</p> <p>(2) 英語カフェ（全4回）</p> <p>① 開催期間 令和4年7月～8月 <會津稽古堂ほか></p> <p>② 主な内容 ・ネイティブスピーカーによる英会話講習</p> <p>(3) サマーキャンプ</p> <p>① 開催期間 令和4年8月3日～4日（1泊2日） <東京都内></p> <p>② 主な内容 ・体験型英語学習施設TOKYO GLOBAL GATEWAYでの英語学習 ・難民、紛争地域の支援を行う団体への訪問学習 ・JICA地球ひろばでの、青年海外協力隊元隊員の講義及びSDGsについての学習</p> <p>(4) 成果報告会</p> <p>① 開催日 令和4年8月27日 <會津稽古堂></p> <p>② 主な内容 ・参加高校生による一連のプロジェクト活動の成果発表</p> <p>2. 未来人財育成成塾事業</p> <p>次世代を担う子どもたちに、社会の第一線で活躍する講師陣（経営者、ジャーナリスト、元プロ野球選手等）から、これからの社会を生きる実践的な力を学ぶことができる機会に加え、同世代との集団生活や活動を通し「自立」と「自律」の心を育み、将来の自分の生き方を描けるような機会を提供することを目的に、人材育成事業を実施しました。</p> <p>① 名称 あいづ未来人財育成塾</p> <p>② 開催期間 令和4年8月18日～8月21日（3泊4日） <ホテルニューパレスほか></p> <p>③ 参加人数 県内中学生 22名（うち市内中学生14名）</p> <p>④ 主な内容 ・社会の第一線で活躍する講師による講義（6講義） ・グループワーク（講義の振り返り・将来の生き方について考えるワーク） ・課外活動（はら笑楽交での野菜収穫体験活動等） ・成果発表会</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
まちの拠点整備事業費（県立病院跡地民間活力導入可能性調査等業務委託） (企画調整課)	21,230	10,000		11,230	

説 明

○ 県立病院跡地利活用基本計画の策定にあたり、導入機能や施設の整備・運営等において、民間の資金や経営能力、技術的能力を活用することによる、本市の財政負担の軽減やサービスの向上、魅力的な機能の創出等の可能性について調査・検討を行いました。

[主な調査・検討]

1. 配置計画の検討

導入機能、規模等を踏まえ、外部動線を含めた配置イメージを検討しました。

2. 事業スキームの検討

PPP・PFI等の特徴を整理するとともに先進事例の調査を行いながら、適切な事業手法、事業範囲、維持管理・運営を含めた事業スキームについて検討しました。

3. 市場調査

想定する事業手法、事業スキーム等を踏まえ、PPP・PFI等の導入に関する市場調査を実施しました。
(アンケート調査：回答企業27社、ヒアリング調査：実施企業7社)

【結果】・民間活力を活用したPFI方式及びDBO方式の導入可能性を確認しました。

- ・子どもの屋内遊び場を中心とした公共施設内へのカフェなどの設置や、土地貸付を前提とした中～大規模な商業施設（物販・サービス・飲食・映画館）建設の可能性を確認しました。

4. 概算事業費の検討（従来方式による積算）

整備費（用地取得費含む）	2,700百万円
維持管理・運営費	119百万円／年

5. 民間活力導入による効果の検討

PPP・PFIを導入した場合の効果について、定性的・定量的な検討を実施しました。

【定性的評価】

従来整備 + 指定管理	・公共が熟知したプロセスであり着手しやすい。 ・民間事業者のノウハウ活用は限定的となる。
DBO方式	・一括発注による民間事業者のノウハウの発揮が期待される。 ・PFIに比べ、民間の資金調達が必要で、参入ハードルが低い。 ・PFIに比べ、市による工事監理が必要、金融機関の監視機能がない。
PFI方式 (BTO)	・一括発注による民間事業者のノウハウの発揮が期待される。 ・DBOに比べ、事業契約の一体化や、金融機関の監視機能がある。

【定量的評価】

	DBO方式	PFI (BTO) 方式
VFM	約3%	約1%
従来方式との差額	約100百万円	約30百万円

6. 事業スケジュールの検討

子どもの屋内遊び場等の整備に向けたスケジュールでは、令和9年度の施設オープンを想定し、検討を行いました。

※ DBO：Design-Build-Operate の略。設計・建設・運営を一括して民間事業者に委ねる方式

※ VFM：Value For Moneyの略。従来方式と比べて総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
スマートシティ会津若松推進事業費（複数分野のデータ連携による共助型スマートシティ推進事業補助金） (企画調整課 スマートシティ推進室)	717,468	478,312			239,156
説 明					
○ 「スマートシティ会津若松」の推進を図るため、「デジタル田園都市国家構想推進交付金実施計画書」に基づき、実施主体である一般社団法人AiCTコンソーシアムが取り組むデータ連携基盤の改修や民間サービスの実装事業へ支援を行いました。					
(1) 補助対象事業者 一般社団法人AiCTコンソーシアム					
(2) 補助金額 717,468千円					
(3) 事業内容					
取組分野	主な事業内容				補助金額
全体	事業の進行管理に加え、本事業で構築したデジタルサービスを体験いただくための場の構築やイベントの開催などにより、事業全体を推進し効果的なものとなるよう取り組みました。				45,568千円
基盤	本事業で構築したデジタルサービスを連動させつつ、より使いやすいものとしていくため、データ連携基盤となる「会津若松+」を改修するとともに、今後、当該基盤に接続するサービスの増加に向けて環境をつくるために開発者向けのポータルを構築しました。				251,900千円
食・農業	地産地消の促進による生産者の所得向上と地域内流通の活性化を目指し、地元農家の生産者情報と市内飲食店などの需要を引き合わせ、直接、農産物の取引ができる仕組みを構築しました。				58,000千円
観光	スマートシティ関係の視察客や出張者を起点とした地域内での消費拡大や経済循環を目指し、飲食店・観光施設等の情報や視察行程等を地図上で一元的に確認できるデジタルサービス及びスマートシティ関係の視察をワンストップで受け付ける体制を構築しました。				91,000千円
決済	地方における持続可能なキャッシュレス決済の普及を目指し、導入店舗の負担を小さくしつつ、購買データを地域で活用していくことができるデジタル地域通貨の仕組みを構築しました。				98,500千円
防災	個々人の現状に応じた効果的な防災・減災を目指し、スマートフォンの位置情報を活用した、家族間での安否情報の共有や最寄りの避難所へのルート案内が可能となるデジタルサービスを構築しました。				56,500千円
ヘルスケア	医療の質の向上と予防医療の促進を目指し、パソコンやスマートフォンで自分自身の健康情報をまとめて確認できるとともに、医療従事者にも共有できる仕組みや、家庭で測定した血圧や医療情報が管理・閲覧でき、医療機関とも連携できる仕組みを構築しました。				116,000千円

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
スマートシティ会津若松推進事業費（地域課題解決型先端サービス実装化支援事業） (企画調整課 スマートシティ推進室)	18,379	9,186		5,000	4,193

説 明

- 本市のサテライトオフィス等に進出した企業が地域企業等と連携して取り組む地域課題の解決に向けた先端サービスの実装化事業に補助金を交付することで、より地域に密着した課題の解決を図る取組を支援するとともに、関係人口の拡大や進出企業・社員の定着を図りました。

[実績]

下記の4事業に対し、補助金を交付。

補助対象事業者	主な事業内容	補助金額
TIS株式会社	・地域の小売店を対象に、会津財布アプリの購買データ等の分析に基づき、経営アドバイスを実施。 ・会津財布アプリ上に、こども食堂への寄附やCO2削減など、キャッシュレス決済による地域貢献度を表示できる機能を開発・実装。	5,000千円
凸版印刷株式会社	・地域の企業等での職場体験や地域の人材が学校の授業の支援などができるよう、地域の学校と企業等をつなぐ教育支援マッチングサービスを開発。	5,000千円
一般社団法人テレメディーズ	・心筋梗塞等心血管病の再発予防のため、高齢者が、IoT医療機器で測定した家庭血圧・酸素飽和度・体温・体重等のデータを特段の操作なく医療従事者等に送信できるシステムを開発・実装。	5,000千円
SAPジャパン株式会社	・スマートごみ箱について、プログラミング教育を行うための教材・アプリケーション等を開発。 ・本市のごみ・リサイクル問題に対する理解・関心を高めるために、小学校においてプログラミング授業を実施し、児童が制作したスマートごみ箱を学校に設置。	3,372千円



小学校におけるプログラミング授業の様子



児童が制作したスマートごみ箱

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
スマートシティ会津若松推進事業費（スマートシティ市民理解促進事業） (企画調整課 スマートシティ推進室)	19,905	13,270			6,635
説 明					
<p>○ 「スマートシティ会津若松」への市民理解を促進するために、デジタルサービスの体験や意見交換ができる機会や場の創出を目的とした「スマートシティサポーター」の制度構築や「リビングラボ」の開催とともに、地元新聞等を活用し、スマートシティの事業内容や取組の進捗について網羅的に情報発信を行いました。</p> <p>主な事業内容</p> <p>[スマートシティ市民理解促進業務]</p> <p>(1) 委託先 日本工営株式会社 福島事務所</p> <p>(2) 委託料 16,577,000円</p> <p>(3) 業務内容</p> <p>○ スマートシティサポーターの募集 スマートシティの取組を応援し、デジタルサービスを積極的に活用・周知いただく「スマートシティサポーター」を募集し、リビングラボの開催や企業の新しいデジタルサービスなどに関する情報を配信しました。</p> <p>○ リビングラボの開催 企業等の新たなデジタルサービスの創出と積極的な市民参画による地域浸透の好循環を生み出すため、ヘルスケア・決済・食農業・防災の4分野で、市民を対象としたデジタルサービスの説明会、体験会及び意見交換会として「リビングラボ」を開催しました。</p> <p>○ デジタルコミュニケーションツールの活用・比較検討 スマートシティサポーター、リビングラボ参加者及びデジタルサービス提供企業等の円滑なコミュニケーションなどを持続的に運用していくために必要なデジタルツールの機能を調査し、様々な参加型コミュニケーションツールの比較検討を行いました。</p> <p>○ スマートシティの取組に関するプロモーション SNSやWebサイト検索を活用した広告出稿やPR動画の作成等を行い、スマートシティの取組についてのプロモーションを実施しました。</p> <p>[新聞記事作成業務]</p> <p>(1) 委託先 株式会社福島民報社会津若松支社、福島民友新聞株式会社</p> <p>(2) 委託料 3,300,000円</p> <p>(3) 業務内容 「スマートシティ会津若松」を紹介する2ページのフルカラー記事を制作し、令和5年3月14日に委託先が発行する新聞への掲載及び福島県全域への配布を行いました。</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
スマートシティ会津若松推進事業費（日ASEANスマートシティ国際会議地域情報発信等業務委託） (企画調整課 スマートシティ推進室)	8,959	4,479			4,480

説 明

- スマートシティを軸とした関係人口・交流人口の拡大、ICT関連企業のさらなる集積やイノベーションの創出、さらには、新たな仕事づくりなどを通じた地域全体の活性化を図るため、本市等で開催された「第4回日ASEANスマートシティ・ネットワークハイレベル会合」の運営を国県及び他の開催地自治体と共同で行い、スマートシティ会津若松のみならず、本市の歴史や観光などの魅力を国内外に発信しました。

委託先 : 株式会社JTBコミュニケーションデザイン
委託期間 : 令和4年10月18日～令和5年2月28日

[「第4回日ASEANスマートシティ・ネットワークハイレベル会合」の概要]

- ・開催日時 令和4年12月4日（土）～12月5日（日）
- ・会場 会津大学（ハイレベル会合等）、御宿東鳳（歓迎レセプション・宿泊場所等）
福島ロボットテストフィールド、Jヴィレッジ（ビジネスマッチング等）
- ・主催 国土交通省
- ・参加者 約240名（2日間合計）

※ASEAN側：ASEANスマートシティ・ネットワーク加盟9カ国及びASEAN事務局
約50名が参加

[事業内容]

1. 会合等における本市の情報発信等
歓迎レセプション会場等にブースを設け、スマートシティ会津若松等の情報発信を行うとともに、本市の情報をPRする動画を作成し、会場で放映しました。
2. 視察に係る通訳者等の手配
ASEANスマートシティ・ネットワーク加盟国からの会津大学留学生等をはじめとする通訳者を手配し、円滑な事業運営を図りながら、本市のPRを行いました。
3. 会合・視察等に係る会場・移動手段・宿泊場所等の手配
円滑な事業運営と本市の魅力発信に効果的な宿泊場所等の手配を行いました。

※ 本会合については、国（国土交通省、復興庁）、県、本市、檜葉町、広野町を委員とし、会津大学、Jヴィレッジをオブザーバーとする調整委員会を設置し、各構成団体が連携して開催。



ハイレベル会合における登壇者集合写真



歓迎レセプションへのブース出展の様子

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域振興費（地域づくりビジョン推進事業補助金） （地域づくり課）	3,839				3,839

説 明

- 地域の生活や暮らしを守り、地域コミュニティの活性化を図るため、地域で暮らす人々が中心となって組織し、地域課題の解決に向けた取組を自主的かつ主体的、持続的に実践する団体の活動経費に対して補助金を交付し、その活動を支援しました。

[補助対象者]

概ね小学校区又は地区区長会の区域を活動区域とし、地区内の団体・個人等により組織され、持続的に地域づくり活動を行う団体

[補助対象事業]

- (1) 地域づくりビジョン（地域づくり活動団体が主体となって策定する地域づくり活動の基本となる計画）の策定に係る事業
- (2) 地域づくりビジョンに定められた以下の事業
 - ア 地域コミュニティの維持及び活性化に関する事業
 - イ 住民生活の支援に関する事業
 - ウ 地域資源の発掘及び活用に関する事業
 - エ 地域の交流の促進に関する事業
 - オ 環境保全に関する事業
 - カ 生涯学習の活性化に関する事業
 - キ 組織の強化や人材育成に関する事業
 - ク その他市長が必要と認める事業

[対象経費]

臨時雇用者の賃金、報償費、旅費、委託料、需用費、役務費、その他活動に必要な経費

[補助金額]

- (1) 地域づくりビジョン策定事業…上限200千円
- (2) 地域づくりビジョン対象事業…上限1,000千円

[実績]

団体名	交付額	主な取組
北会津地域づくり委員会	800,000円	ふれあいコンサート、フォトコンテスト、運動教室など
河東地域づくり委員会	842,558円	広報紙発行、スプリングコンサートなど
みんなと湊まちづくりネットワーク	1,000,000円	救命救急教室、買い物ツアー、農産物直売所など
大戸まちづくり協議会	200,000円	おおとマルシェ、健康教室、ボランティア輸送実証、川柳コンテストなど
永和地区地域づくり協議会	995,843円	地域づくりビジョン冊子作成、地域史跡案内看板設置、スマホ教室など

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域公共交通活性化事業費（只見線維持管理費負担金・PRイベント経費） (地域づくり課)	8,665				8,665
説 明					
<p>○ 令和4年10月に全線運転再開となったJR只見線の上下分離区間（会津川口駅～只見駅間）の鉄道施設等の維持管理を行うため、県及び会津17市町村で締結した「只見線の鉄道施設等の維持管理に関する覚書」に基づき、負担金を支出しました。</p> <p>また、只見線の全線運転再開への市民の理解を深め、その利用促進を図るため、只見線の魅力や被災から復旧までの経過等を紹介するパネル展示会及び只見線に係る地域の人々を追ったドキュメンタリー映画の上映会を開催しました。</p> <p>[事業概要及び実績・成果]</p> <p>1. 只見線運行状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全線運転再開日：令和4年10月1日（土） ・運行本数：上下9本（平日） <p>2. 全線運転再開PRイベント</p> <p>(1) パネル展示会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：令和4年11月23日（水）～11月27日（日） <li style="padding-left: 20px;">各日9:00～16:00（初日は13:00～、最終日は12:00まで） ・会 場：会津若松市文化センター ・来場者数：計388人 <p>(2) ドキュメンタリー映画上映会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：令和4年11月24日（木） <li style="padding-left: 20px;">午後の部（14時00分～）、夜の部（18時30分～）の2回公演 ・会 場：会津若松市文化センター ・来場者数：計560人 					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
市民協働推進事業費（市民活動団体支援業務委託） (企画調整課 協働・男女参画室)	963				963
説 明					
<p>○ NPO法人や市民公益活動団体等（以下、「市民活動団体」という。）からの相談への対応や研修会の開催など、市の協働パートナーとなる市民活動団体の活動を支援することにより、地域の魅力づくりや課題解決、市民協働の推進を図りました。</p> <p>1. 事業概要</p> <p>(1) 委託内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相談対応 市民活動団体や市民からの、団体の立ち上げや運営、活動等に関する相談に対して、助言や指導等を伴走型で行いました。 ○ 研修会の開催 市民活動団体の活動に必要な分野についての研修会を企画・運営しました。 ○ ホームページの作成及び運用 市民活動団体の活動、地域の魅力づくりや課題解決に役立つ情報を発信するホームページを作成し、運用しました。 <p>(2) 委託期間 令和4年6月27日から令和5年3月31日まで</p> <p>(3) 委託先 特定非営利活動法人 あいさぽセンター</p> <p>2. 実施内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相談対応 団体の法人化や活動の活性化、行政への手続きなど、寄せられた相談に対して速やかに対応するとともに、相談内容の解決や他の専門機関等への紹介等を行いました。 ○ 研修会の開催 11月に「市民活動に必要なコミュニケーション能力を学ぶセミナー」を、1月に「市民活動に必要な情報発信能力を学ぶセミナー」を実施し、延べ72名の参加がありました。参加者を対象としたアンケートでは、「満足」と「やや満足」を合わせた満足度が1回目で97%、2回目で83%でした。 ○ ホームページの作成及び運用 市民活動団体やイベント、助成金などの情報等を掲載し、毎週1回以上の更新を行いました。 					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
庁舎整備事業費 (企画調整課 庁舎整備室)	317,319		255,100	61,093	1,126
庁舎建設等事業費(4~6年度継続) (企画調整課 庁舎整備室)	2,852,990		2,690,400	162,590	

説 明

○ 「庁舎整備基本計画(平成31年4月)」、「庁舎整備基本計画の精査と整備に向けた方向性の整理(令和元年11月)」、「庁舎整備基本設計(令和3年2月)」に基づき、施工予定者技術協議方式(ECI方式)により庁舎整備実施設計をとりまとめ、令和4年度から令和6年度の3ヵ年継続事業として、庁舎建設工事に着工しました。

[主な事業内容]

1. 庁舎整備事業費

(1) 庁舎整備設計業務(委託期間：令和2年7月10日から令和4年10月31日まで)

庁舎整備基本計画等を踏まえた庁舎整備の設計図書を作成するために、設計業務(基本設計及び実施設計)を委託しました。

- ① 令和4年度の主な業務内容
実施設計業務
- ② 委託先
梓・白井設計共同企業体

(2) 庁舎整備実施設計技術協力及び調査業務(委託期間：令和3年7月9日から令和4年10月31日まで)

施工予定者の施工技術やVE(バリューエンジニアリング)提案等を実施設計に反映させるために、実施設計技術協力及び調査業務を委託しました。

- ① 令和4年度の主な業務内容
実施設計技術協力業務(実施設計にかかる技術検証、施工計画の検討、コスト管理など)
- ② 委託先
戸田・共立・弓田技術協力等共同企業体

(3) 庁舎整備コンストラクションマネジメント業務(委託期間：令和元年度から令和7年度まで)

計画、設計及び施工の各段階において、スケジュール・品質・コストのトータル的なマネジメントを行いながら、庁舎整備事業を確実及び円滑に推進するために、コンストラクションマネジメントの業務を委託しました。

- ① 令和4年度の主な業務内容
 - ・ 設計技術支援(実施設計の内容確認と助言、保存建築物に関する技術支援など)
 - ・ 実施設計及び実施設計技術協力業務における品質・コスト管理支援
- ② 委託先
株式会社 三菱地所設計 東北支店

2. 庁舎建設等事業費(4~6年度継続)

内容	受注者	R4支出額
庁舎整備建築工事	戸田・共立・弓田特定建設工事共同企業体	1,923,680千円
庁舎整備空気調和設備工事	八ッ橋設備・アークズ会津特定建設工事共同企業体	338,800千円
庁舎整備給排水衛生設備工事	会津ガス・興栄設備特定建設工事共同企業体	134,640千円
庁舎整備電気設備工事	目黒・萩生田特定建設工事共同企業体	303,600千円
庁舎整備情報設備工事	会津・ユアテック特定建設工事共同企業体	140,360千円
庁舎整備設計意図伝達業務委託	梓・白井設計共同企業体	11,910千円

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳															
		国県支出金	地方債	その他	一般財源												
地域生活支援事業費（地域障がい者相談支援事業委託） (障がい者支援課)	12,604	9,453			3,151												
説 明																	
○ 地域における障がいのある方や困りごとを抱えた方の相談窓口の整備を図りました。																	
1. 相談窓口設置状況																	
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>窓口名称</th> <th>担当地区（小学校区）</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第2地域障がい者相談窓口</td> <td>謹教・城西・小金井小</td> <td>857件</td> </tr> <tr> <td>第3地域障がい者相談窓口</td> <td>門田・城南・大戸小</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>第5地域障がい者相談窓口</td> <td>一箕・松長・湊小</td> <td>1,260件</td> </tr> </tbody> </table>						窓口名称	担当地区（小学校区）	相談件数	第2地域障がい者相談窓口	謹教・城西・小金井小	857件	第3地域障がい者相談窓口	門田・城南・大戸小	19件	第5地域障がい者相談窓口	一箕・松長・湊小	1,260件
窓口名称	担当地区（小学校区）	相談件数															
第2地域障がい者相談窓口	謹教・城西・小金井小	857件															
第3地域障がい者相談窓口	門田・城南・大戸小	19件															
第5地域障がい者相談窓口	一箕・松長・湊小	1,260件															
※令和5年1月開所																	
2. 主な業務内容																	
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方に対する相談支援 ・地域の関係機関との連携 ・緊急時入所やグループホーム体験利用等の調整 																	
地域生活支援事業費（成年後見制度中核機関業務委託） (障がい者支援課)	1,850	418			1,432												
老人福祉事業費（成年後見制度中核機関業務委託） (高齢福祉課)	4,316	976			3,340												
説 明																	
○ 知的や精神に障がいのある方の家族の高齢化や高齢者単身世帯の増加等を背景とし、成年後見制度の必要性が高まってきていることから、成年後見制度の広報・相談や後見人支援等を行う中核機関を会津圏域11市町村で設置し、連携してその運営に努めました。																	
1. 中核機関業務委託料 6,164,916円																	
2. 委託期間 令和4年7月～令和5年3月																	
3. 業務内容																	
<ul style="list-style-type: none"> ・広報・啓発 広報物作成及び住民向け講演会（2回実施）、研修会（9回実施） ・相談業務 119件（うち高齢者83件、障がい者32件、それ以外の方4件） ・利用促進業務 日常生活支援自立支援事業との連携 ブロック別事例検討会（4回実施） ・後見人等支援 後見人等支援のための事例検討会（4回実施） ・地域連携ネットワーク構築 運営会議及び会津圏域成年後見制度利用促進協議会の開催 																	
4. 連携市町村																	
会津若松市、北塩原村、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町																	

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
つながりづくりポイント事業費 (高齢福祉課)	27,613				27,613
説 明					
<p>○ ボランティア活動や介護予防活動などの実績に基づきポイントを付与し、集めたポイント数に応じて、サービスや商品と交換できる利用券を交付することで、市民の地域活動参加と高齢者の社会参加の促進や介護予防の推進を図り、地域における高齢者を含めたつながりづくりを推進しました。 令和4年度は、登録団体や協力店の拡大に取り組むとともに、参加者の意見等を踏まえて事業の改善を図りました。</p> <p>1. 登録状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録団体数 106団体 (令和3年度より47団体の増) 内訳：支援型 4団体、参加型 102団体 ※ 支援型：高齢者等の社会参加の促進や介護予防の推進を図るための活動を支援する団体 参加型：高齢者等の社会参加の促進や介護予防の推進を図るための活動を行う団体 ・ 登録者数 1,989人 (令和3年度より541人の増) <p>2. 協力店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協力店数 228店舗 (令和3年度より100店舗の増) ※ 協力店：利用券を使用することができる店舗・事業所 <p>3. 利用券</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交換額 (A) 957千円 前年度に活動して貯めたポイントを利用券に交換した金額 ・ 利用額 (B) 845千円 交換した利用券を協力店で使用した金額 ・ 換金率 (B/A) 88.3% 					

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
後期高齢者医療事業費（高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施） (高齢福祉課・国保年金課・健康増進課)	2,501			2,501	

説 明

○ 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施について、令和4年度は一圏域（北会津圏域）をモデル地区として実施し、高齢者の心身の多様な課題に対応したきめ細かな支援に取り組みました。

[事業概要]

1. 高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）

健康診査の結果に基づき、支援が必要な方に対する訪問等により、医療機関の受診や生活習慣の改善につなげる支援を行いました。

(主担当：健康増進課)

取組項目	実施数
低栄養防止	17人
糖尿病性腎症重症化予防	4人
高血圧症重症化予防	2人

2. 通いの場等への積極的関与（ポピュレーションアプローチ）

身近な会場において健康相談「フレイル予防教室」等を実施し、フレイル予防の啓発を行うとともに、低栄養や筋力低下等の状態に応じた支援を行いました。

(主担当：高齢福祉課)

取組項目	実施数
フレイル予防教室 (栄養・口腔・運動教室及び健康相談)	1団体 延べ17人
フレイルチェック (筋力等の測定及び健康相談)	5回 延べ85人

(注) フレイル：加齢に伴い心身の活力が低下した虚弱な状態

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
乳幼児健康支援一時預かり事業費（病児保育施設整備交付金） (こども保育課)	37,161	24,774	9,900		2,487
説 明					
<p>○ 新たな病児保育施設を整備する事業者に対し、交付金を交付し、保護者の子育てと就労の両立に向けた環境の整備を図りました。</p> <p>1. 交付先及び対象施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交 付 先：医療法人清信会 ・対象施設：キッズケアにじいろ <p>2. 施設整備に伴う事業概要（令和5年度から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定 員：4名 ・利用対象：生後6か月～小学3年生 ・開所時間：平日 8時～18時、土曜日 8時～13時 ・休 所 日：日・祝日・年末年始・その他クリニックの休診日等 ・利用料金：1日利用 2,000円、半日利用 1,000円 ・そ の 他：昼食及びおやつ提供（利用時間による） 					

4 款 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源															
飲料水対策事業費 (健康増進課)	4,606			32	4,574															
説 明																				
<p>○ 上水道未普及地区の給水不安地区において、業務委託により給水作業を実施することで、安全で安心な飲料水を供給しました。</p> <p>給水業務委託 1,430千円</p> <p>○ 上水道未普及地区において、安定した給水と住民の衛生的生活を確保するため、会津若松市給水施設等整備費補助金の交付等に関する要綱に基づき、地区が行う給水施設等の整備に対し補助金を交付しました。</p> <p>給水施設等整備費補助金</p> <p>実施地区 1地区 ・ 湊町笹山地区 3,176千円</p>																				
予防接種事業費（子宮頸がん予防ワクチン及び緊急風しん対策事業費） (健康増進課)	22,883	6,908			15,975															
説 明																				
<p>○ 子宮頸がん予防ワクチン</p> <p>平成25年6月以降差し控えられた当該ワクチンの積極的接種勧奨が、令和4年4月より再開されたことに伴い、定期接種対象者及び定期接種の機会を逃した方（キャッチアップ対象者）に対し個別の通知を送付し、希望者に対し予防接種を実施しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>通知件数</th> <th>接種延べ件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成18年度から平成21年度生まれの女子</td> <td style="text-align: center;">2,022件</td> <td style="text-align: center;">322件</td> </tr> <tr> <td>平成9年度生まれから平成17年度生まれの女子で子宮頸がんワクチン未終了者 (キャッチアップ対象者)</td> <td style="text-align: center;">3,877件</td> <td style="text-align: center;">573件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 緊急風しん対策事業</p> <p>特に風しん抗体保有率が低い昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対し、令和元年度から3年度までの3ヶ年で実施してきた抗体検査及び予防接種について、感染症の影響等により実施期間が令和6年度まで延長になったことから、対象者へクーポン券を送付し、抗体検査の受診や予防接種を勧奨しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>クーポン券通知件数</th> <th>抗体検査実施数</th> <th>風しん予防接種件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">9,336件</td> <td style="text-align: center;">586件</td> <td style="text-align: center;">120件</td> </tr> </tbody> </table>						対象者	通知件数	接種延べ件数	平成18年度から平成21年度生まれの女子	2,022件	322件	平成9年度生まれから平成17年度生まれの女子で子宮頸がんワクチン未終了者 (キャッチアップ対象者)	3,877件	573件	クーポン券通知件数	抗体検査実施数	風しん予防接種件数	9,336件	586件	120件
対象者	通知件数	接種延べ件数																		
平成18年度から平成21年度生まれの女子	2,022件	322件																		
平成9年度生まれから平成17年度生まれの女子で子宮頸がんワクチン未終了者 (キャッチアップ対象者)	3,877件	573件																		
クーポン券通知件数	抗体検査実施数	風しん予防接種件数																		
9,336件	586件	120件																		

4 款 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
出産・子育て応援事業費 (健康増進課)	70,977	24,408			46,569
説 明					
<p>○ 国の「出産・子育て応援交付金」を活用し、令和4年4月以降に妊娠届や出生届の届出を行った妊婦・子育て世帯に対して、妊娠期から継続して相談できる体制整備を図るとともに、出産育児関連品等の購入に係る費用を助成しました。</p> <p>1. 事業開始日 令和5年2月1日</p> <p>2. 対象者</p> <p>(1) 出産応援給付金：令和4年4月1日以降に妊娠届出をした妊婦（※ただし2(3)の該当者を除く）</p> <p>(2) 子育て応援給付金：令和5年2月1日以降に出生した児童の養育者 ※ 乳児家庭全戸訪問（出産から2か月後を目安に保育士等が自宅訪問を行う）等において、新生児の養育者（主に母親）が面談を受ける必要あり</p> <p>(3) 出産・子育て応援給付金：令和4年4月1日から令和5年1月31日までに出生した児童の養育者 ※ 令和4年度のみの特例</p> <p>3. 助成額</p> <p>(1) 出産応援給付金：妊娠1回あたり5万円</p> <p>(2) 子育て応援給付金：新生児1人あたり5万円</p> <p>(3) 出産・子育て応援給付金：10万円 ※双子は15万円</p> <p>4. 支給件数</p> <p>(1) 出産応援給付金：388件</p> <p>(2) 出産・子育て応援給付金：504件 ※うち双子が2件 ※ 令和4年度は子育て応援給付金の実績なし（令和5年2月出生児の養育者面談は4月以降のため）</p> <p>5. 支給額</p> <p>(1) 出産応援給付金：19,400千円</p> <p>(2) 出産・子育て応援給付金：50,500千円</p>					

4 款 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
緊急減量化対策事業費 (廃棄物対策課)	3,855				3,855

説 明

○ 会津若松市一般廃棄物処理基本計画（令和3年4月改訂）で重点目標に定めた燃やせるごみの排出量の目標達成に向けた以下の取組を進めました。

1. 資源化品目の追加

(1) 古着の拠点回収の実施

燃やせるごみの削減のため、令和3年9月から資源化品目に指定した古着について「ごみ・資源物排出カレンダー」等で周知するとともに、栄町第二庁舎、生涯学習総合センター、各支所、各市民センター、廃棄物対策課の11か所で拠点回収を行い、年間約30トン进行回収しました。

2. 市民・行政との連携、協働の取組の推進

(1) 全市一斉ごみ減量運動の実施

毎年6月と9月を「全市一斉ごみ減量運動」の期間とし以下の取組を実施しました。

① ごみステーションでの立会い・排出説明

市職員が各町内会が管理するごみステーションに伺い、直接市民にごみの分別・減量を説明し、適正排出への協力を呼びかけました。令和4年度は159町内会で実施しました。

② 町内会・市民向け「ごみ分別・減量説明会」の開催

ごみの分別・減量を啓発するため、市内11地区の区長会において説明会を開催しました。

(2) 使用済小型家電の無料回収

燃やせないごみの削減と資源のリサイクルを図るため、使用済小型家電認定事業者と連携し6月と10月に使用済小型家電の無料回収を行いました。約4.4トンの小型家電を回収・リサイクルし、燃やせないごみ2.4トンを削減しました。

(3) 生ごみ削減モニター事業の実施

生ごみ減量施策の参考資料とするため、電動生ごみ処理機、段ボールコンポスト、消滅型生ごみ処理容器作成キットを市民に貸し出し、家庭での生ごみ減量の削減効果を調査しました。

(4) 違反ごみ等見守りカメラシステムの運用

不法投棄及びごみステーション等への悪質な違反ごみの投棄の防止を図るため、違反ごみ等見守りカメラシステムの運用を開始しました。

3. ごみの見える化の推進

(1) ごみ情報紙「へらすべえ」の発行

本市のごみの現状や分別方法に関する情報をわかりやすく、市民に周知するため、ごみ情報紙「へらすべえ」を4回発行し、全戸に配布しました。これにより、ごみの減量やリサイクルに関する意識の向上を図ることができました。

4. 事業系ごみの減量・資源化の啓発

(1) 事業系燃やせるごみ組成分析の実施

事業系ごみ減量施策の基礎資料とするため、事業系可燃ごみの組成分析を行い排出状況を把握するとともに、分析結果を公表しました。

【一般廃棄物処理基本計画に定めた目標の達成状況】

指標	目標値		実績値		対前年比 (%)
	令和7年度 (最終年度)	令和4年度	令和3年度	令和4年度	
1人1日あたりのごみ排出量 (g)	970	1,062	1,231	1,229	▲0.2
燃やせるごみの排出量 (トン/日)	82.1	97.7	105.2	104.2	▲1.0
燃やせるごみの排出量 (トン/年)	29,983	35,644	38,410	38,043	▲1.0

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
農産物ブランド化・販売促進事業費 (農政課)	21,255	3,918			17,337

説 明

- 付加価値の高い地元産農畜産物のブランド化や販路開拓等を図る事業に対して負担金や補助金を支出し、関係機関と連携して本事業を推進することにより、地域内外への販路開拓と販売促進及び、地元産農畜産物の利用拡大とブランド化を通し、農家所得の確保・向上を図りました。

1. 負担金等内訳

No.	事業名	金額 (千円)
1	あいづ食の陣実行委員会負担金	10,356
2	会津みしらず柿販路拡大促進協議会負担金	300
3	あいづの厳選米生産推進協議会負担金	5,000
4	農産物販路開拓・販売促進事業負担金	1,488
5	地域特産活用産地づくり支援事業補助金	1,273
6	会津人參生産支援補助金	193
7	オリジナル酒米産地力強化支援事業補助金	2,645
合計		21,255

2. 主な事業

(1) あいづの厳選米生産推進協議会負担金

【目的】

会津産コシヒカリの中でも栽培方法や食味値などによって厳選した米を「AiZ' S-RiCE」としてブランド化し、米集出荷業者が共同でPR・販売することで、本市産米価格の維持・向上を図りました。

【主な事業内容】

- ・ ミシュラン星獲得店等の首都圏の有名料理店において「AiZ' S-RiCE」と会津産食材を使用したオリジナルメニューを提供し、首都圏の消費者に「AiZ' S-RiCE」をはじめとする会津産食材の魅力と品質の高さを紹介しました。
- ・ 情報誌への掲載や、キャンペーンの実施により、令和4年度の生産量52 tを有効活用して会津産米のPRを図りました。

(2) あいづ食の陣実行委員会負担金

【目的】

あいづ食の陣実行委員会への支援を通して、市内飲食店や宿泊施設、菓子販売業者等と連携しながら、旬の食材をメインとした飲食メニューの提供・販売を行うことにより、会津の食の魅力を地域内外へ発信するとともに、地元産農畜産物の利用拡大とブランド化を図りました。

【主な事業内容】

- ・ シーズンイベントの開催：春…アスパラガス、夏…トマト、秋…米、酒、冬…会津地鶏
参加店舗の実績
春・アスパラ 飲食店：47店、宿泊施設：4施設、販売店：13店 計64店舗
夏・トマト 飲食店：43店、宿泊施設：5施設、販売店：14店 計62店舗
秋・米、酒 飲食店：50店、宿泊施設：5施設、販売店：22店 計77店舗
冬・会津地鶏 飲食店：42店、宿泊施設：3施設、販売店：6店 計51店舗

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
鳥獣被害防止総合支援事業費 (農林課)	3,052				3,052

説明

○ 専門家による集落環境診断を受けて実施する緩衝帯整備や広域での侵入防止柵設置など、地区による自主的な防除対策に要する経費について支援しました。

1. 事業概要

(1) 集落環境診断

事業継続地区において、専門家による集落環境診断等を実施することで、住民の鳥獣被害対策に関する基礎知識の定着と、捕獲以外の被害対策の有効性・必要性についての理解促進を図りました。

(2) 緩衝帯の整備

集落環境診断の結果に基づき、住民が主体となり「多面的機能支払交付金」等を活用し、集落周辺の環境を整備することで、野生鳥獣が侵入しにくい環境づくりを推進しました。

(3) 広域での侵入防止柵の設置

専門業者の指導のもと、住民が主体となり侵入防止柵を設置することで、広域での被害対策を進めるとともに、被害防除の重要性について意識の醸成を図りました。

(4) 侵入防止柵購入に係る経費の補助

事業対象地区における、侵入防止柵（電気柵等）導入に係る経費について補助することで、地区の負担を軽減しました。

- ・広域対策地区の補助率：購入経費の80%（上限50万円）

2. 事業実績

No.	地区	実施内容
1	赤井	電気柵設置延長：約0.5km
2	東田面	既設範囲の維持管理
3	原	電気柵設置延長：約2.0km
4	四ツ谷	電気柵設置：約0.3km
5	上馬渡	電気柵設置：約0.8km
6	経沢	電気柵設置：約1.1km
7	大豆田	既設範囲の維持管理
8	芦ノ牧	既設範囲の維持管理
9	堤沢	既設範囲の維持管理

- ・上表の各地区で必要に応じ集落環境診断、緩衝帯の整備、広域での侵入防止柵の設置を実施
- ・上表中、電気柵設置やその延長を実施した地区には、侵入防止柵購入に係る経費の補助を実施

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
会津地域鳥獣被害防止広域対策推進事業費 (農林課)	13,051		12,300		751
説 明					
<p>○ 会津地域鳥獣被害防止広域対策推進協議会における、「ライフル・スラッグ弾射撃場整備」に向けた取組を支援し、現役の捕獲従事者の捕獲技術向上や新規の捕獲従事者の確保を目指すことで、将来的な有害鳥獣の捕獲圧強化を図りました。</p> <p>また、整備後の射撃場の財産管理、管理運営等について当該協議会で協議を行った結果、射撃場施設を当該協議会から本市へ無償譲渡した後、管理運営を本市が実施し、管理運営費の負担は当該協議会が行うことで合意しました。</p> <p>[協議会における取組]</p> <p>1. ライフル・スラッグ弾射撃場の整備に関する事業 (事業主体：会津地域鳥獣被害防止広域対策推進協議会)</p> <p>ライフル・スラッグ弾射撃場建設工事 93,065 千円 (財源)</p> <p>福島県鳥獣被害防止総合対策交付金 46,497 千円 協議会構成市町村負担金 46,568 千円 (うち本市負担額13,051千円)</p> <p>(整備概要)</p> <p>敷地面積：約7,000㎡ 設置施設：鉄筋コンクリート平屋建て (床面積 約39㎡) 100m (50m兼用)×2座 100m×1座 計3座</p> <p>2. 射撃場整備に係る関係機関打合せ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相馬市初野射撃場視察 ・射撃場整備に係る公安委員会協議 					

7款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地場産業振興事業費（会津漆器販路拡大事業 実行委員会負担金） （商工課）	2,448				2,448
説 明					
<p>○ 消費者を対象とした国内最大級の展示会であるテーブルウェア・フェスティバル（リアル・オンライン併催）への出展を支援するため、会津漆器販路拡大事業実行委員会へ負担金を交付し、新しくデザインされた会津漆器の魅力向上と情報発信を行うことにより、会津漆器の振興を図りました。</p> <p>1. 勉強会（全4回） テーブルウェア・フェスティバルのシニアプロデューサーを講師に招へいし、新たな販路開拓に向けた付加価値の高い商品づくりを行うための勉強会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容 「顧客ターゲットの設定と商品構成」 「テーブルウェア商品のトレンドと開発」 など ・ 参加者 延べ25名 <p>2. 商品開発指導会（全4回） テーブルウェア・フェスティバルのシニアプロデューサーを講師に招へいし、ターゲットとする女性に好まれる色やデザイン、大きさなどのトレンドの取り入れ方や、各社の強みや個性を生かした商品開発の手法について学ぶ指導会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加企業 延べ20社 <p>3. テーブルウェア・フェスティバルへの出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催期間 令和5年1月27日～2月5日（10日間） ・ 開催場所 東京ドーム、WEB開催 ・ 参加企業 5社 <p>4. フィードバックセミナーの実施（1回） テーブルウェア・フェスティバルのオンライン出展後に、今後の課題を共有するとともに、魅力ある商品やトレンドを生かしたものづくりについて協議しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加企業 5社 					

7款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
桜咲く会津プロジェクト推進事業費 (商工課)	8,422				8,422
説 明					
<p>○ イオン株式会社との地域貢献協定を活かし、会津地域の物産を継続的に首都圏に流通させるため、桜咲く会津プロジェクト実行委員会へ負担金を交付し、販路開拓を図りました。</p> <p>1. 会津フェスタの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 令和4年8月、令和4年11月 ・開催場所 イオン津田沼店、イオンレイクタウン ・開催内容 物産販売、観光PR、ワークショップ（漆器蒔絵体験、赤べこ絵付け体験）など <p>2. 常設販売コーナーの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 令和4年4月～令和5年3月 ・実施場所 イオン浦和美園店 ・実施内容 常設販売コーナーを設置し、物産販売や観光PRなど <p>3. イオンイーハートとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 令和4年8月、令和4年11月 ・実施場所 関東地域の店舗21店舗 ・開催内容 会津フェスタ開催に合わせ、店舗利用者へ会津産米を配布し、会津産米の魅力やメニューへの会津産米利用をPR ・配布数 3,600部 <p>4. 商談会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 5回 ・開催場所 会津地域 ・開催内容 会津地域企業とイオングループバイヤーとの商談会 ・参加企業 延べ12社 					

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																											
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																								
商業地域活性化事業費（中小企業及び小規模企業振興補助金） (商工課)	15,179	4,812		1,139	9,228																								
説 明																													
○ 商工業の振興を図るため、中小企業者や小規模企業者等が行う各種事業に補助金を交付しました。特に、商店街等が実施するイベント事業や商店街自らが空き店舗に誘致する事業などを支援することにより、魅力ある商店街づくりに努めました。																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商店街施設設置事業補助金</td> <td>5</td> <td>269</td> </tr> <tr> <td>イベント事業補助金</td> <td>4</td> <td>766</td> </tr> <tr> <td>人材育成事業補助金</td> <td>4</td> <td>513</td> </tr> <tr> <td>商店街空き店舗対策事業補助金</td> <td>28</td> <td>11,703</td> </tr> <tr> <td>商店街施設維持管理事業補助金</td> <td>22</td> <td>1,862</td> </tr> <tr> <td>チャレンジ企業応援補助金</td> <td>1</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td>64</td> <td>15,179</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	件数 (件)	金額 (千円)	商店街施設設置事業補助金	5	269	イベント事業補助金	4	766	人材育成事業補助金	4	513	商店街空き店舗対策事業補助金	28	11,703	商店街施設維持管理事業補助金	22	1,862	チャレンジ企業応援補助金	1	66	合計	64	15,179
事業名	件数 (件)	金額 (千円)																											
商店街施設設置事業補助金	5	269																											
イベント事業補助金	4	766																											
人材育成事業補助金	4	513																											
商店街空き店舗対策事業補助金	28	11,703																											
商店街施設維持管理事業補助金	22	1,862																											
チャレンジ企業応援補助金	1	66																											
合計	64	15,179																											
企業誘致促進事業費 (企業立地課)	15,662			1,349	14,313																								
説 明																													
○ 市内に立地する企業に対する各種支援の実施により、企業の操業を支援し、本市工業の振興を図りました。																													
1. 企業立地奨励金																													
一定の要件を満たして市内に工場等を設置した企業に対し、区分に応じて企業立地奨励金を交付することにより、企業立地を促進し、産業の振興と雇用機会の拡大を図りました。																													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 件 数 9件 ・ 交付金額 11,180千円 ・ 土地、建物に係る企業立地奨励金 <ul style="list-style-type: none"> ① 株式会社社会津クォーツ ② 東亜電気工業株式会社 ③ 株式会社三義漆器店 ④ 株式会社古賀セミコンテクノロジー ・ 賃貸借に係る企業立地奨励金 <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 株式会社エヌ・エス・シー ⑥ 株式会社デザイニウム ⑦ 株式会社社会津コンピュータサイエンス研究所 ⑧ 株式会社アイザック ⑨ ゼビオコミュニケーションネットワークス株式会社 																													

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光振興事業費(会津まつり協会負担金) (観光課)	77,700				77,700
説 明					
○ 会津まつり協会に対し負担金を支出し、まつりやイベント等を通じた地域の振興を図りました。					
<p>1. 会津まつり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：令和4年9月22日（木）～9月24日（土） ・参加人数：124,500人 ・実施内容：提灯行列、会津磐梯山踊り、先人感謝祭、会津藩公行列、日新館童子行列 会津まつり70年記念式典及び記念講演会 ※鼓笛隊パレードは、荒天により中止 ・会津まつり70年の節目として、記念式典と記念講演会を実施しました。また、3年振りに全ての行事を実施する予定でしたが、台風の影響により一部の行事が中止となりました。 <p>2. 親善交流推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：令和4年11月11日（金）～11月13日（日） ・参加人数：67人 ・訪問先：三重県松阪市、滋賀県日野町、京都市、大阪市 ・「蒲生氏郷公ゆかりネットワーク共同宣言」調印20周年を迎えたことから、滋賀県日野町と三重県松阪市などを訪問し、ゆかりの地の皆様と交流しました。参加者からは、ゆかりの地を訪問し、訪問先において丁寧な説明を受けることにより、本市との関わりを再認識できたという声を多くいただきました。 <p>3. 歳の神事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：令和5年1月14日（土） ・来場者数：約1,000人 ・東山温泉観光協会との共催により、小正月伝統行事の継承の場として実施しました。以前は、各町内会などの単位で実施されていましたが、高齢化や宅地化が進み、実施を取りやめる地区も増えていることから、その受け皿的な要素も高まっています。 					

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源															
観光振興事業費（会津若松観光ビューロー補助金） (観光課)	27,583				27,583															
説 明																				
○ 一般財団法人会津若松観光ビューローが実施する観光振興及び物産振興の基盤となる事業に対して、補助金を交付しました。																				
[主な活動内容]																				
1. PR活動事業																				
<ul style="list-style-type: none"> 本市観光のポータルサイト「会津若松観光ナビ」の管理運営・環境整備を行うとともに、新着・特集ページ等において鮮度の高い観光情報を発信しました。 【閲覧数】3,548,449件（前年度：3,290,354件） Facebook、Twitter、Instagram等のSNSを活用し、リアルタイムで観光情報を発信するとともに、広告展開による誘客促進を行いました。 																				
2. 会津若松市観光大使事業																				
<p>大使の方々の知名度と発信力を活かし、観光誘客を図りました。令和4年度は、新たに5名を観光大使に任命しました。（令和5年3月末現在 39名）</p> <p>また、観光大使と会津ファンクラブ会員が集うイベントを開催し、本市誘客事業への理解を深めていただくとともに、今後の誘客に資する情報交換を行いました。</p>																				
3. 観光案内所等運営事業																				
本市観光の拠点である「会津若松駅」及び「飯盛山」において観光案内所を運営し、旅行者の利便性の向上と周遊を促進しました。																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>案内所</th> <th>4年度案内件数</th> <th>うち外国人観光客数</th> <th>3年度案内件数</th> <th>うち外国人観光客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会津若松駅案内所（V案内所）</td> <td>19,924人</td> <td>1,620人</td> <td>14,054人</td> <td>251人</td> </tr> <tr> <td>飯盛山観光案内所</td> <td>10,297人</td> <td>7人</td> <td>9,420人</td> <td>44人</td> </tr> </tbody> </table>						案内所	4年度案内件数	うち外国人観光客数	3年度案内件数	うち外国人観光客数	会津若松駅案内所（V案内所）	19,924人	1,620人	14,054人	251人	飯盛山観光案内所	10,297人	7人	9,420人	44人
案内所	4年度案内件数	うち外国人観光客数	3年度案内件数	うち外国人観光客数																
会津若松駅案内所（V案内所）	19,924人	1,620人	14,054人	251人																
飯盛山観光案内所	10,297人	7人	9,420人	44人																
4. 手ぶらでまちなか観光事業																				
会津若松駅と宿泊施設間において、観光客の荷物を配送するサービスを実施し、荷物を携えて観光する煩わしさを軽減し、まちなかの周遊を促進しました。（利用件数844件）																				
5. 観光ガイド運営事業																				
ボランティアガイドを育成するとともに、鶴ヶ城や御薬園等で観光案内を行うことで本市の魅力向上を図りました。																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>4年度実績</th> <th>合 計</th> <th>3年度実績</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件 数</td> <td>4,068件</td> <td>件 数</td> <td>880件</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>15,724人</td> <td>利用者数</td> <td>2,823人</td> </tr> </tbody> </table>						4年度実績	合 計	3年度実績	合 計	件 数	4,068件	件 数	880件	利用者数	15,724人	利用者数	2,823人			
4年度実績	合 計	3年度実績	合 計																	
件 数	4,068件	件 数	880件																	
利用者数	15,724人	利用者数	2,823人																	
6. まち歩きスイーツ事業																				
スタンプラリー方式で、まちなかのカフェと東山・芦ノ牧両温泉の日帰り入浴を結びつけることにより、観光客の周遊性と滞在性の向上を図りました。																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>4年度実績</th> <th>合 計</th> <th>3年度実績</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加店</td> <td>13件</td> <td>参加店</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>7,848人</td> <td>利用者数</td> <td>5,164人</td> </tr> </tbody> </table>						4年度実績	合 計	3年度実績	合 計	参加店	13件	参加店	14件	利用者数	7,848人	利用者数	5,164人			
4年度実績	合 計	3年度実績	合 計																	
参加店	13件	参加店	14件																	
利用者数	7,848人	利用者数	5,164人																	

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光物産復興特別事業費（会津若松観光ビューロー特別補助金） (観光課)	20,724				20,724

説 明

- 一般財団法人会津若松観光ビューローが重点的に実施する、原子力発電所事故による風評を払しょくし、誘客等を促進する各種事業に対し、補助金を交付しました。

[主な活動内容]

1. 教育旅行推進事業

教育旅行の需要拡大を図るため、情報発信・情報提供、誘致活動等に取り組みました。

- ・ 来訪実績がある都市の学校長会や新規来訪校が多かった栃木県や茨城県の旅行エージェント等に対しキャラバン活動を実施し、再来訪を促しました。
- ・ パンフレット（「教育旅行版『あいばせ』」、「会津エリア教育旅行ガイド」、「うまいものマップ」など）を作成し、訪問学校等へ配布することで情報発信を行いました。
- ・ 子どもたちの安全安心を確保するため、官民協働の「みまもり隊」活動や位置情報・緊急通報機能付き携帯電話貸出サービス等を実施し、受入体制を強化しました。

	令和4年度	令和3年度	対前年比	※参考 平成23年度
総来訪校数	1,231校	1,241校	99.2%	100校

2. インバウンド推進事業

ポストコロナを見据え、プロモーション体制を構築しました。

- ・ 本市の基幹多言語ウェブサイトである「SAMURAI CITY AIZUWAKAMATSU」の英語版ページをリニューアルし、訴求力を高めました。
- ・ 英語版パンフレットを作成し、セールスツールとして活用しました。

3. 観光地域づくり推進事業

DMO（観光地域づくり法人）として、本市の「観光需要の平準化」と「観光消費額の向上」を図るため、各種事業に取り組みました。

【マーケティング】

- ・ DMOとして実施する各種事業の企画立案に資するため、大手インターネット検索サイトのトレンドワード、さらには観光消費額や流動人口等に関するデータの収集・分析を実施しました。

【着地型旅行商品の造成販売】

- ・ マーケティングに基づき、旅行者ニーズを捉えた着地型旅行商品を30本造成しました。また、ウェブサイト上で販売・PR・決済をワンストップで行うことができるシステムを導入し、滞在型観光を推進しました。

【地域関係者との情報共有】

- ・ 観光事業者等に対し、マーケティングデータや観光入込数等を配信することにより情報の共有化を図り、各種施策への合意形成を促進しました。

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
温泉地域活性化推進事業費（温泉地域活性化検討会負担金） (観光課)	3,039				3,039
説 明					
<p>○ 東山・芦ノ牧両温泉地域の関係者ととも温泉街の魅力向上を図るために組織した温泉地域活性化検討会に対し、令和3年度に策定した「会津若松市温泉地域景観創造ビジョン」の具現化を図るための「具体的な取組」や「役割分担」等を明確にした「会津若松市温泉地域景観創造ビジョンアクションプラン」の策定にかかる経費として、負担金を支出しました。</p> <p>業 務 名： 温泉地域景観創造ビジョンアクションプラン策定業務 委託期間： 令和4年5月24日～令和5年2月28日 受託業者： 株式会社エイエイピー 東北支店 検討経過： 令和4年5月30日～令和5年2月1日 東山温泉活性化ワーキンググループ（合計5回開催） 令和4年6月29日～12月22日 芦ノ牧温泉活性化ワーキンググループ（合計4回開催） 令和5年2月24日 温泉地域活性化検討会においてアクションプラン承認</p> <p>【東山温泉】 [ビジョンの概要] 「会津の湯町」をテーマとして、鶴ヶ城から近い距離にある立地条件を活かし、まちなか観光の中心としてのポジショニングの確立と、特徴である「湯川と橋」の趣を活かした、しつらい（景色）の整った温泉街を目指す。</p> <p>[アクションプランの主な取組] ・ 空き旅館・ホテルの解体・撤去 ・ 東山温泉観光案内所の改装 ・ 東山温泉観光協会～石本屋までの街並み整美 ・ 湯川（詠観橋～芳袖橋）護岸の整美 ・ 神社の整美 ・ 街中通りの清掃美化と樹木などの植栽</p> <p>【芦ノ牧温泉】 [ビジョンの概要] 「会津の奥座敷」をテーマとして、阿賀川の深い溪谷に沿ってたたずむ温泉街と、街全体がコンパクトである立地条件を活かし、雄大な風景を楽しみながら「奥座敷」としての景色を整え、湯あがりに歩きたくなる旅の風情を提供できる温泉街を目指す。</p> <p>[アクションプランの主な取組] ・ 足湯街道・あぎのまちのファサード整美 ・ 空き旅館・ホテルの解体・撤去 ・ 空地の整美・活用（旧いづみや下） ・ 芦ノ牧三十三観音の整美 ・ 芦ノ牧温泉観光案内所の改装 ・ 椀（もみじ）街道の整美</p>					

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
除雪対策事業費 (道路課)	811,420	123,067	19,100	45,946	623,307

説 明

○ 冬期間における安全な道路の通行確保を図るため、除排雪対策、雪害対策を実施しました。

1. 委託料

内 容	事業量	事業費
道路除雪等業務	車道 854.0km 253台	541,016千円
	歩道 118.7km 45台	
間口除雪業務	61町内 271世帯 延べ2,175回	718千円
消雪施設整備管理業務	点検整備操作 26.9km	25,740千円
防雪柵設置・撤去業務	固定式 4路線 2.17km	28,488千円
	仮設式 9路線 3.92km	
自家用電気工作物保安管理業務	赤井地区消雪施設 1箇所	62千円
除雪車運行システム業務	GPS搭載機器 325台	14,246千円
凍結抑制剤散布業務委託		10,229千円
夜間道路パトロール業務委託		2,572千円
除雪路線網図作成業務委託		553千円
合 計		623,624千円

2. 工事請負費

内 容	事業量	事業費
水源施設揚水機械補修工事	上米塚地区消雪施設 1箇所	7,821千円
消雪施設補修工事	応急対応工事 3箇所	1,949千円
合 計		9,770千円

3. 備品購入費

内 容	事業量	事業費
小型除雪車	1.0m級 2台	22,880千円
除雪ドーザ	11t級 1台	16,170千円
合 計		39,050千円

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
舗装及び改良事業費 (まちづくり整備課)	80,772	40,049	36,200		4,523
説 明					
○ 交通渋滞の解消、経済活動・観光産業の活性化促進、生活環境の改善を図るため、幹線市道の道路網整備等を行いました。					
1. 工事請負費					
工 種	区 分	路線数	事 業 量		事 業 費
舗装及び改良工	幹線市道	1路線 (1工区)	幹Ⅱ-5号線	L=120.0m	43,353千円
合 計					43,353千円
2. 委託料					
内 容		事 業 量		事 業 費	
測量設計業務委託		幹Ⅰ-22号線 幹Ⅰ-2号線	L=600.0m L=660.0m	32,322千円	
合 計					32,322千円
うち前年度からの繰越 30,015千円					
3. 補償補填及び賠償金					
内 容		事 業 量		事 業 費	
水道管移転補償費		幹Ⅱ-13号線	1件	4,466千円	
合 計					4,466千円
会津若松駅前都市基盤整備事業費 (まちづくり整備課)	910				910
説 明					
○ 会津若松駅前周辺地区について、複雑な道路形状の解消や駅前広場のバス、タクシー、一般車、歩行者等の安全確保を図り、本市の玄関口としての機能の向上を図るため、関係機関と事業手法や物件補償などについて協議・検討し、会津若松駅前都市基盤整備事業基本計画の策定における条件整理を実施しました。					
[検討委員会と関係機関との実務者協議]					
① 会津若松駅前周辺まちづくり検討委員会等の開催 有識者、地元各団体、交通事業者、関係事業者、地域の方々等から幅広い視点での意見集約を行いました。					
② 有識者、国、県、関係団体との協議 昨年度までの検討内容について、具体的な基本計画策定における事業費財源や事業手法等を整理しながら、有識者、国、県、関係団体との協議を進めました。					
③ 関係地権者との協議 具体的な基本計画策定において重要な物件の補償について、関係地権者との協議を進めました。					

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
会津総合運動公園等維持管理費（陸上競技場 3種公認継続経費） （まちづくり整備課）	249,646			24,800	224,846

説 明

- 陸上競技場の公認記録は、日本陸上競技連盟が認める「公認競技会」でマークされた記録でなければならないと定められており、公認競技会は公認陸上競技場で開催しなければならない条件があります。
- 公認陸上競技場については、陸上競技場公認に関する細則において、競技場の詳細な規格や必備品を定めており、その基準等を満たす必要があります。供用開始から10年が経過し、2度目の公認を取得するため、必要な工事と必備品の購入を行いました。

1. 工事請負費

内 容	事 業 量	事 業 費
会津総合運動公園あいづ陸上競技場公認継続関連改修工事	全天候型舗装工（合成ゴムシートt=8mm） A=6,058.5m ²	234,691千円
合 計		234,691千円

2. 備品購入費

内 容	事 業 量	事 業 費
公認継続に係る必備品購入	写真判定装置等	14,955千円
合 計		14,955千円

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
溢水対策事業費（工事費） （都市計画課・道路課）	76,936		72,800		4,136

説 明

○ 市民生活の安全性を確保するため、溢水被害の軽減に必要な河川や水路の改修を行いました。

・主な工事請負費

内 容	事業量		事業費
蟹川堀川水路整備工事	L=136.9m	W=3.0m	48,144千円
門3-11水路整備工事	L=102.2m	W=1.7~3.2m	4,247千円
門3-8水路整備工事	L=9.6m	W=0.6m	2,408千円
吹屋川河道掘削工事	L=350.0m	V=275.8m ³	8,326千円
谷沢川河道掘削工事	L=280.0m	V=471.6m ³	9,813千円
合 計			72,938千円

蟹川堀川水路整備工事 施工前



蟹川堀川水路整備工事 竣工後



8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳												
		国県支出金	地方債	その他	一般財源									
立地適正化計画策定事業費 (都市計画課)	5,422	2,300			3,122									
説 明														
○ 少子高齢化や将来的な人口減少、頻発・激甚化する自然災害など、多様化する都市の課題に対応するため、都市機能や居住の誘導に係る基本的な方針、施策等について具体的な内容を定めた、立地適正化計画の策定を行いました。														
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>事業量</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立地適正化計画策定業務委託料</td> <td>計画策定及び会議等開催・運営に係る支援一式</td> <td>5,126千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td>5,126千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	事業量	事業費	立地適正化計画策定業務委託料	計画策定及び会議等開催・運営に係る支援一式	5,126千円	合 計		5,126千円
内 容	事業量	事業費												
立地適正化計画策定業務委託料	計画策定及び会議等開催・運営に係る支援一式	5,126千円												
合 計		5,126千円												
歴史的風致維持向上計画策定事業費 (都市計画課)	4,645				4,645									
説 明														
○ 豊かな歴史資源や伝統文化、農業、漆器、酒造、醸造などの幅広い産業など、市街地環境の魅力を向上させて次世代へ継承するため、地域の歴史的建造物と伝統的な人々の活動を歴史的風致とみならず歴史的風致維持向上計画を策定し、令和5年6月19日に国から認定を受けました。														
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>事業量</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歴史的風致維持向上計画策定支援業務委託料</td> <td>計画策定及び会議等開催・運営に係る支援一式</td> <td>4,320千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td>4,320千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	事業量	事業費	歴史的風致維持向上計画策定支援業務委託料	計画策定及び会議等開催・運営に係る支援一式	4,320千円	合 計		4,320千円
内 容	事業量	事業費												
歴史的風致維持向上計画策定支援業務委託料	計画策定及び会議等開催・運営に係る支援一式	4,320千円												
合 計		4,320千円												
宅地耐震化推進事業費（大規模盛土造成地変動予測調査業務委託） (開発管理課)	20,266	10,126			10,140									
説 明														
○ 河東町高塚地区の大規模盛土造成地において、第2次スクリーニングである地質調査及び水位観測を行い、その結果を基に安定計算等の解析を実施しました。														
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>業務内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大規模盛土造成地変動予測調査業務委託</td> <td>第2次スクリーニング</td> <td>20,266千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td>20,266千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	業務内容	事業費	大規模盛土造成地変動予測調査業務委託	第2次スクリーニング	20,266千円	合 計		20,266千円
内 容	業務内容	事業費												
大規模盛土造成地変動予測調査業務委託	第2次スクリーニング	20,266千円												
合 計		20,266千円												

9 款 消防費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																		
消防団管理運営費（消防団員報酬） (危機管理課)	54,030				54,030																		
説 明																							
<p>○ 国の「消防団員の処遇等に関する検討会」の中間報告を踏まえ、本市消防団員の報酬の種類及び額の見直しを行い、適正な消防団の運営を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直し内容 消防団員の報酬を年額報酬及び出動報酬としました。 班長及び団員の年額報酬を増額しました。 ・消防団員年額報酬・出動報酬 年額報酬 46,550千円(支給人数 1,189人) 出動報酬 7,479千円(支給人数 1,061人) 計 54,029千円 ・機能別消防団員出動報酬 1千円(支給人数 1人) 																							
消防施設整備費 (危機管理課)	38,017		28,600		9,417																		
説 明																							
<p>○ 市民の生命、身体及び財産を火災から守り、安全で安心なまちづくりを推進するために、消防施設の整備を図りました。</p>																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">内 容</th> <th style="text-align: center;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第15分団西麻生消防屯所シャッター改修工事</td> <td style="text-align: right;">343 千円</td> </tr> <tr> <td>第19分団熊野堂地区火の見櫓解体工事</td> <td style="text-align: right;">770 千円</td> </tr> <tr> <td>第8分団基幹屯所改修工事</td> <td style="text-align: right;">3,859 千円</td> </tr> <tr> <td>第19分団高畑地区火の見櫓解体工事</td> <td style="text-align: right;">638 千円</td> </tr> <tr> <td>第19分団冬木沢地区火の見櫓解体工事</td> <td style="text-align: right;">748 千円</td> </tr> <tr> <td>第7分団・第8分団小型動力ポンプ積載車購入</td> <td style="text-align: right;">9,064 千円</td> </tr> <tr> <td>消火栓新設工事及び修理工事負担金</td> <td style="text-align: right;">21,549 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">36,971 千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	金 額	第15分団西麻生消防屯所シャッター改修工事	343 千円	第19分団熊野堂地区火の見櫓解体工事	770 千円	第8分団基幹屯所改修工事	3,859 千円	第19分団高畑地区火の見櫓解体工事	638 千円	第19分団冬木沢地区火の見櫓解体工事	748 千円	第7分団・第8分団小型動力ポンプ積載車購入	9,064 千円	消火栓新設工事及び修理工事負担金	21,549 千円	合 計	36,971 千円
内 容	金 額																						
第15分団西麻生消防屯所シャッター改修工事	343 千円																						
第19分団熊野堂地区火の見櫓解体工事	770 千円																						
第8分団基幹屯所改修工事	3,859 千円																						
第19分団高畑地区火の見櫓解体工事	638 千円																						
第19分団冬木沢地区火の見櫓解体工事	748 千円																						
第7分団・第8分団小型動力ポンプ積載車購入	9,064 千円																						
消火栓新設工事及び修理工事負担金	21,549 千円																						
合 計	36,971 千円																						

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
あいづっこ学力向上推進事業費 (学校教育課)	19,897			7,720	12,177
説 明					
<p>○ 本市児童生徒の学力のさらなる向上を図るため、平成29年度から令和8年度までの10年間で展望した新たな視点での「あいづっこ学力向上推進計画」に基づき、学習に主体的に取り組む意欲を養い、思考力、判断力、表現力等を育み、自分の夢と希望をかなえ、未来を切り拓くことのできる力を身に付けるため、環境整備及び学力向上事業を実施しました。</p> <p>[実施事業]</p> <ol style="list-style-type: none"> 学級集団育成事業 児童生徒の確かな学力の向上を図る基盤づくりとして、hyper-QU（児童生徒個人、学級集団の状態、個人と集団の関係性を把握するためのアンケート）を実施し、その効果的な活用を図りました。 ※QU (Questionnaire-Utilities) 読解力向上事業 学校図書館の充実のため学校図書館支援員6名を配置し、読書好きな児童生徒を増やすとともに、授業における積極的な図書館の活用を通して、学力向上のための重要な基礎づくりを行いました。あわせて新聞等の教材の活用により、自然環境、社会事象等への関心を高め、読解力、表現力の向上を図りました。 指導力向上事業 「自ら学ぶ子どもを育てるために、今、考えたいこと」という演題で、市立学校の全教員対象の講演会を実施し、指導力向上を図りました。 また、学校教育指導委員会による本市独自の学力調査問題（チャレンジテスト）作成にあたり、小・中学校の教員が、一緒に小学校算数と中学校数学・英語の問題作成に取り組むことで、教材分析力を高めることができました。 ICT活用学力定着事業 各学校に配置した電子黒板、大型テレビといった大型提示装置や1人1台タブレット端末、算数・数学と英語の指導者用デジタル教科書に加え、各学校が希望したデジタル教材の活用を推進し、児童生徒の学習内容の理解を深めました。 チャレンジ事業（学力向上支援事業補助金） 失敗を恐れず物事にチャレンジする精神や大きな感動体験は、主体的な学習を成立させる大きな原動力となるものであることから、各種検定への受検を通し、子どもたちのチャレンジ精神を養い、成功体験を通して学習意欲（チャレンジ精神）を高めました。 対 象： 全児童生徒 受検者数： 2,725人 対象検定： 実用英語技能検定、日本漢字能力検定、実用数学技能検定 補助内容： 1回の受検につき1,000円 会津若松市学力向上推進委員会 本市の児童生徒の学力向上を目指す全市的な取組を加速させるため、学識経験者や保護者等で構成する「会津若松市学力向上推進委員会」を年3回開催し、学校、家庭、地域、教育委員会及び関係機関等が連携した実践的施策を含めた学力向上策について、検討及び評価を行いました。 					

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
あいづっこ人材育成プロジェクト事業費 (学校教育課)	4,530	1,119			3,411
説 明					
<p>○ 本物に出会い本物に学ぶ機会を創出し、心に残る感動体験を通じ「憧れ」や「郷土への誇り」といった子どもたちの豊かな心の育成を進めるため、教育委員会のスローガンである「憧れ」・「学び」・「誇り」をキーワードに事業を実施しました。</p> <p>[実施事業]</p> <p>1. 映画から学ぶ (憧れ) 映画人の講演、映画上映などを通して、中学生に本物の映像文化に触れ、感性を高める機会を提供しました。 ・令和4年度対象 第一、一箕、大戸中学校及び河東学園 (後期課程)</p> <p>2. 地域から学ぶ (学び) 地域内外の企業や地域で活躍されている方などが講師となり、それぞれの知識や技術を生かした内容の講演・授業の機会を提供しました。 ・令和4年度対象14校 (要望により実施)</p> <p>3. まなべこツアー (誇り) 歴史資料センター (まなべこ) を活用し、会津の歴史講話を聞き、会津藩主松平家墓所 (院内御廟) 等を見学することで、郷土の歴史への関心を高める機会を提供しました。 ・令和4年度対象 全小学校及び河東学園 (前期課程) の6年生</p>					
教育ICT環境推進事業費 (学校教育課)	158,568	4,263		5,892	148,413
説 明					
<p>○ 学校のICT機器やデジタル教材等の整備、更新、保守管理を実施しました。また、これらICT機器等の有効活用と教員の負担軽減を図るための総合的なサポートを実施しました。</p> <p>1. 事務費等 113,228千円 校務用、学習用のICT機器、デジタル教材などについて、新規購入や賃貸借、保守管理などを実施することで、ICTを有効に活用できる環境を整えました。</p> <p>2. 教育ICT環境総合サポート事業 21,527千円 ICTに関する学校からの問い合わせや相談に応じるヘルプデスクを開設するとともに、機器等の不具合発生時やソフトウェアのインストール、設定変更などについて、学校に駆け付けての対応や教員向けの研修会を行うことで、ICTの有効活用に向けた支援と教員の負担軽減を図りました。</p> <p>3. 学校インターネット接続環境増強業務委託 22,550千円 1人1台タブレット端末用のインターネット接続回線を学校ごと (湊小・中、大戸小・中を除く。) に追加し、タブレット端末用のネットワークと校務用などのネットワークの適切なアクセス制限やセキュリティ対策等を行うことで、数多くの端末に対応したインターネット接続環境を整備しました。</p> <p>4. 授業目的公衆送信補償金 1,263千円 著作権法の改正により、令和3年度からは授業において他人の著作物を用いた教材や資料をインターネット経由で配信する場合、国が指定する管理団体に補償金を支払うことで、個別に著作権の許諾を得ることなく著作物を利用できることとなったため、当該制度に基づいた適正な運用を図りました。</p>					

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
城北小学校プール附属棟及び駐車場整備事業費 (学校教育課 学校保健給食室)	41,340		39,200		2,140

説明

- 耐震補強工事が困難と評価された城北小学校校舎北東棟及び南棟の機能を統合した新北東棟の完成に伴い、南棟の跡地にプール附属棟及び職員駐車場等を整備し、学校環境の改善を図りました。

[経費内訳]

- プール附属棟整備事業 (令和3年度からの繰越)

内容	R3支出額	R4支出額	総事業費
プール附属棟新築外工事	24,200千円	29,304千円	53,504千円
プール附属棟機械設備工事	8,230千円	8,443千円	16,673千円
プール附属棟電気設備工事	3,040千円	3,593千円	6,633千円
合計	35,470千円	41,340千円	76,810千円

※ 駐車場整備事業は令和3年度に完了。



10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																														
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																											
公会計化事業費 (学校教育課 学校保健給食室)	14,432				14,432																											
説 明																																
<p>○ 令和5年度からの学校給食費の公会計化に向け、学校給食費管理システムの導入や学校給食費の徴収等に関する例規の整備を行いました。 また、学校給食費の支払方法として口座振替又は児童手当からの支払を選択できるようにし、保護者の利便性の向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食費管理システム導入 事務の正確性の確保と効率化を図るため、市立学校等の児童生徒及び教職員等の学校給食費を徴収管理する専用システムを導入しました。 学校給食費管理システム導入等業務委託 9,900千円 学校給食費の徴収等に関する例規 学校給食費の徴収等に関する規則及び学校給食費徴収等事務取扱要綱の整備 																																
学校維持管理費（長寿命化改良事業） (教育総務課)	192,510	64,722	127,300		488																											
説 明																																
<p>○ 小学校2校、中学校1校において、校舎屋上防水層や屋内運動場屋根の改修、外壁劣化部やサッシ周囲のコーキング打替え等、屋根・外壁面の全面的な改修を実施し、建物の長寿命化を図りました。</p> <p>[経費内訳]</p> <p>1. 小学校における長寿命化改良事業費</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">城西小学校</td> <td>中央棟外壁・屋上防水改修工事实施設計業務委託</td> <td>2,530千円</td> </tr> <tr> <td>中央棟外壁・屋上防水改修工事</td> <td>62,216千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">松長小学校</td> <td>屋内運動場屋根・外壁改修工事实施設計業務委託</td> <td>3,135千円</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場屋根・外壁改修工事</td> <td>64,950千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td>132,831千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 中学校における長寿命化改良事業費</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第四中学校</td> <td>北棟外壁・屋上防水改修工事实施設計業務委託</td> <td>2,585千円</td> </tr> <tr> <td>北棟外壁・屋上防水改修工事</td> <td>56,835千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td>59,420千円</td> </tr> </tbody> </table>						学校名	内 容	事業費	城西小学校	中央棟外壁・屋上防水改修工事实施設計業務委託	2,530千円	中央棟外壁・屋上防水改修工事	62,216千円	松長小学校	屋内運動場屋根・外壁改修工事实施設計業務委託	3,135千円	屋内運動場屋根・外壁改修工事	64,950千円	合 計		132,831千円	学校名	内 容	事業費	第四中学校	北棟外壁・屋上防水改修工事实施設計業務委託	2,585千円	北棟外壁・屋上防水改修工事	56,835千円	合 計		59,420千円
学校名	内 容	事業費																														
城西小学校	中央棟外壁・屋上防水改修工事实施設計業務委託	2,530千円																														
	中央棟外壁・屋上防水改修工事	62,216千円																														
松長小学校	屋内運動場屋根・外壁改修工事实施設計業務委託	3,135千円																														
	屋内運動場屋根・外壁改修工事	64,950千円																														
合 計		132,831千円																														
学校名	内 容	事業費																														
第四中学校	北棟外壁・屋上防水改修工事实施設計業務委託	2,585千円																														
	北棟外壁・屋上防水改修工事	56,835千円																														
合 計		59,420千円																														

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
学校施設耐震化事業費 (教育総務課)	91,739	30,707	60,200		832

説明

○ 小学校3校、中学校2校において、屋内運動場の窓ガラス飛散防止フィルム貼付及びバスケットゴールの改修など、非構造部材の耐震化を実施し、児童生徒の安全・安心な学習環境を確保しました。

[経費内訳]

1. 小学校における耐震化事業費

学校名	内容	事業費
一箕小学校外	屋内運動場ガラス補強・バスケットゴール改修工事实施設計業務委託	4,378千円
一箕小学校	屋内運動場ガラス補強・バスケットゴール改修工事	20,909千円
謹教小学校 川南小学校	屋内運動場ガラス補強・バスケットゴール改修工事	29,326千円
合計		54,613千円

2. 中学校における耐震化事業費

学校名	内容	事業費
第四中学校外	屋内運動場ガラス補強・バスケットゴール改修工事实施設計業務委託	2,948千円
第四中学校 湊中学校	屋内運動場ガラス補強・バスケットゴール改修工事	33,880千円
合計		36,828千円

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
北会津公民館管理運営費（公民館専門員の配置） (北会津公民館)	3,041			10	3,031
説 明					
<p>○ 学校教育活動を地域が支援する「地域学校協働活動」のさらなる推進を図るため、社会教育や学校教育に対して専門的な知識や優れた知識を有する人材を公民館専門員として1名配置し、公民館の運営体制の強化、充実を図りました。</p> <p>[公民館専門員担当事業実績]</p> <ol style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室「あらたてわんぱく遊び隊」 ○放課後の学校施設を利用し、地域の方の指導による遊びや体験活動を実施しました。 ・対象：1～6年生 ・実施回数：10回 ・参加者：延べ185名 ・実施内容：防災教室、ニュースポーツ、レクリエーション 等 放課後子ども教室「かわなみわんぱく遊び隊」 ○放課後の学校施設を利用し、地域の方の指導による遊びや体験活動を実施しました。 ・対象：1～6年生 ・実施回数：10回 ・参加者：延べ190名 ・実施内容：防災教室、ニュースポーツ、レクリエーション 等 北会津中学校区地域学校協働活動（学校支援） ○学校の授業や活動等を地域の方々が支援しました。 ・対象：小学生及び中学生 ・実施回数：38回 ・参加者：延べ73名（地域住民参加者数） ・実施内容：総合的な学習及び家庭科における学習支援 等 地域ボランティア「ちょボラ隊」の設立 ○学校を支援する地域ボランティア「ちょボラ隊」の設立準備やボランティアの募集を行いました。 その他の公民館事業 ○地域学校協働活動以外の公民館主催事業においても、趣味や健康の講座などの企画立案を行い、実施しました。 					

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
成人祝賀事業費 (教育総務課 あいづっこ育成推進室)	2,564				2,564
説 明					
<p>1. 18歳成人祝賀メッセージカードの送付とフォトスポットの設置 民法改正に伴い、成年年齢が18歳に引き下げられたことを受け、新成人である対象者へはがきによる祝賀メッセージカードを送付しました。 また、生涯学習総合センター1階に18歳成人の記念撮影ができるフォトスポットを設置しました。</p> <p>○ 「18歳成人祝賀メッセージ」送付実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発送数：1,130件 <p>2. はたちのつどいの開催と記念品の贈呈 人生の大きな節目となる20歳を迎えた皆さまに対し、お祝いと激励の意を表するとともに、郷土への愛着を深め、社会からの信頼と期待に応えることができる社会人としての自覚を改めて促すため、「成人式」の後継事業として「はたちのつどい」を開催しました。</p> <p>○ 「はたちのつどい」開催実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日 時：令和5年1月8日（日） ・ 会 場：會津風雅堂 ・ 対象者：1,276名 ・ 出席者： 895名 <p style="margin-left: 40px;">出席者には記念品として「会津木綿の箸袋」を贈呈しました。</p>					